保護者の皆さまへ
鹿大だより　第18号
KAGOSHIMA UNIVERSITY
◎編集・発行／国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580　鹿児島市郡元1丁目21番24号　TEL099-285-7035　FAX099-285-3854　E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp

昨年度の鹿大祭恒例みこしパレード

鹿大の就活最前線 ～最近の就職環境と鹿児島大学の就職・キャリア支援体制～

短期決戦で過密スケジュールとなった就職活動

2017年3月卒業・修了予定の学生にとっては、求人情報の公開や企業説明会等、採用広報活動の開始は昨年度卒業生と同じく3月だったものの、経団連の指針変更により、面接などの採用選考解禁時期が6月と前年より2ケ月早くなりました。6月を待たずに実質的な選考を開始した企業も、大手も含めて非常に多かったようで、今年の就職戦線は学生にとって前例のない短期決戦だったと言えます。

企業の採用意欲が旺盛な「売り手市場」とはいえ、学生達は過密スケジュールの中で、説明会への参加、応募書類の提出から採用試験へと追われることになりました。企業研究の時間がもっとあればと悔やむ学生の声も少なからず耳にします。明暗を分けたのは、企業への応募や採用説明会が始まる3月より前の、自己分析や業界・企業研究、インターンシップへの参加など、事前準備の度合いでした。インターンシップは必ずしも採用に直結する訳ではありませんが、早い時期に参加する学生は意識が高いとの見方から、企業側はインターンシップを重視する傾向にあり、本学でも参加する学生の割合は年々増えています。早期から新聞や本、ネットから情報収集して業界や企業、仕事について理解を深めるのはもちろん、社会人から話を聞く機会を積極的に持ち、インターンシップにも参加するなど、リアルな情報に接することで、就職への意識も高まりますし、後の志望業界や志望企業、職種の選択にも役立つはずです。

本番さながらの模擬面接

公務員採用試験の動向

全学的に希望者の多い公務員採用試験ですが、民間企業との併願は、昨年ほどではないにせよ、やはり日程的に厳しいものとなっています。本番前の受験勉強で重要な時期と、民間企業への応募書類の準備や採用試験のピークが重なるため、併願を考える場合には、早い時期から綿密な計画を立て、業界や企業を絞った上で、効率的に就職活動を行うことが求められます。また、公務員採用試験においても、人物本位で面接試験を重視する傾向が強まっています。なぜ公務員を目指すのか、公務員になって何がしたいのかを明確にし、面接対策にも十分な準備が必要です。

学年進行に沿った就職・キャリア支援

就職支援センターでは、低学年からの職業観の育成と主体的職業選択能力の向上を目指し、共通教育において様々なキャリア科目を開講しています（各学部でも学部の特性に応じたキャリア教育を実施）。正課外でも、キャリア意識を高め、業界や仕事内容への理解を深めるためのキャリア支援企画を用意しており、今年度も10月以降、各種の業界・職種研究セミナーや、県内企業の若手OB・OG社員との交流会、大手企業やグローバル企業、或いは地域で活躍する卒業生による就職支援セミナーなど、全学部・学年を対象に開催する予定です。1年生も含め、多くの学生の参加を期待しています。

学部3年生・大学院1年生に対しては、年間9回の全学就職ガイダンスに加え、就職活動に必要なマナーや面接、集団討論などの実践的な講座や、内定者や企業を招いての業界別研究講座など、様々な就職支援イベントを実施しています。本格的な就職活動が始まる3月には、福岡で開催される大規模な合同企業セミナーへの参加バスツアーのほか、学内で大規模な合同・個別の企業セミナーを開催しており、随時開催される単独の企業や官公庁の説明会も含め、本学学生の採用に積極的な県内外からの参加企業・官公庁の数は年間で400近くに達します。更に、各学部においても、内定者による体験談や卒業生を招いての交流会、合同企業説明会など、学部独自の就職支援イベントを積極的に開催しています。

最終学年の就職希望の学生には、就職活動見直し講座（5月）や九州内の企業による合同就職説明会（6月・8月）を開催しており、また、就職支援センターで希望業界や職種、地域等を登録すると、条件に応じた求人情報がメールで配信されます（就職支援センターのホームページからWEB登録が可能です。詳細はセンターまで）。毎年10月以降も3月まで継続的に求人は届きますし、今年も企業の採用意欲は高い状況ですので、是非前向きに就職活動を続けるよう、保護者の皆様からも後押しをお願いします。

鹿児島県内就職希望者への支援

今年度から県内就職希望者への支援も更に強化しています。地域の現状や課題を学ぶ全学1年生の必修科目「大学と地域」に加え、地元に貢献する人材の育成を目指す「かごしまキャリア教育プログラム」では、1年次から地域就業力を培う授業科目を開講し、3年次には県内企業・団体での長期インターンシップも予定しています。このプログラムの修了者には修了証明書も発行され、就職活動でPRできますので、県内就職を視野に入れている学生は是非履修してください。

学内合同企業セミナー（本学第2体育館にて）

就職・進路相談と求人情報について

就職支援センターでは、本学OBの椰木紀夫氏（元鹿児島銀行取締役人事部長）と、ハローワーク鹿児島のジョブサポーター西山元子氏の2人体制で、個別の就職・進路相談を毎日行っています（事前予約制）。急ぎの場合にはセンターの専門スタッフが随時対応します。進路に関することならどんなことでも、学年を問わず遠慮なく相談していただけたらと思います。

センターに届く求人情報は、就職支援センターのホームページの「求人情報検索」から、自宅のPCやスマートフォンで検索可能です。2018年卒業・修了予定者対象の求人情報は来年3月から公開します。

Clubs サークル紹介

ラグビー部
高速ラグビーで必勝を目指す

1月の第66回全国地区対抗大学ラグビー大会では準優勝、3月の第46回鹿児島県7人制大会では見事優勝を果たしました。

創部は1950年で、現在、男子38名、女子3名の部員が主将を中心にまとまり、自律をテーマにし、日々練習に励んでいます。

9～11月に行われる九州学生Ⅰ部リーグを制し、大学選手権へ出場することが目標です。他大学チームよりも体格で劣るため展開の速い高速ラグビーを目指し、日々の努力と、リーダーが決めた各週毎の練習メニューの一つ一つのプレイを理解しながら、頭と体をフル活用した濃密な練習を積んでいます。

部員同士の絆を深めるため8月にはキャンプを行い、OBとの交流やセブンズ日本代表の鹿児島合宿ボランティアに参加するなど学外での活動も行っています。

第46回鹿児島県7人制大会後記念撮影

将棋部
悲願の優勝目指して

将棋部の創部は1971年。現在の部員は男子22名、女子2名で、初心者から有段者まで様々な棋力の部員がそろっており、和気あいあいとした雰囲気の中で将棋を指しています。部員同士での自由対局、半年単位で順位戦（成績によりクラスが上下する）を行うことにより部内での緊張感を高めています。ラサール高校将棋部や谷山将棋教室との交流戦も行っています。

6月に開催された春季九州学生将棋大会団体戦では約30年ぶりに準優勝を果たし、西日本学生将棋大会に出場しました。春季あるいは秋季九州大会で優勝し、全国大会出場を目標にしています。

毎週金曜日の部会以外でも、時間があれば部室に来て将棋を指す部員が多いです。大学から将棋を始めて強くなったという部員も多いので、将棋に興味のある方はぜひ一度遊びに来てください。

H28年度春季九州大会団体戦準優勝時の記念撮影

鹿大の主な出来事　平成28年4月～9月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY
詳細は、大学HPをご参照ください。
https://www.kagoshima-u.ac.jp

●全学必修科目「大学と地域」スタート

平成26年度に文部科学省「地（知）の拠点整備事業（COC）」の採択を受け、地域課題の解決や地域貢献意欲を持つ人材の育成に取り組んでいますが、今回、その一環として平成28年度前期から「大学と地域」を開講しました。

これは、平成28年度入学の1年生全員（約2000人）が共通教育における必修科目として、鹿児島に関する特定の10分野（※）の中から所属学部にとらわれることなく一つを選択し受講するものです。

※10分野：①防災②医療③まちづくり・観光④エネルギー⑤農業⑥森林・林業⑦動物・畜産業⑧水産業⑨環境・島唄⑩まちおこし・教育

学長講話の様子

●「関西かごしまファンデー」に出展

4月17日、京セラドーム大阪で開催された「第12回関西かごしまファンデー」に鹿児島大学のブースを初めて出展しました。

今回の出展は、関西かごしまファンデー主催の関西鹿児島県人会総連合会会長の稲盛和夫氏が本学工学部卒業生というご縁もあり、実現しました。セレモニーでは、前田芳實学長と本学マスコットキャラクター「さっつん」に登壇する機会を作っていただきました。前田学長は、鹿児島県をフィールドとして学問を行う本学の特色をアピールしました。

会場全景（赤丸箇所が鹿大ブース）

●熊本地震義援金を贈呈

鹿児島大学では、学内に熊本地震義援金の募集の周知を行い、4月18日から4月28日の期間に、教職員、学生から募った義援金537万9842円を、日本赤十字社鹿児島県支部を通じて被災地に送りました。

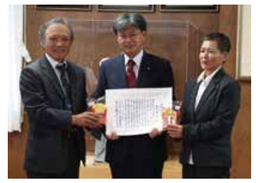
●大野地区公民館長から感謝状が贈呈されました

7月4日、前田芳實学長を表敬訪問された垂水市大野地区の前田清輝公民館長と内田のり子加工グループ高峠わかば会長から、鹿児島大学へ感謝状が贈呈されました。

これは、大野地区公民館が鹿児島県共生・協働の農村づくり運動表彰（農村集落部門）受賞にあたって、長年にわたる本学学生有志団体・森人（もりんちゅ）くらぶの大野地区における①平成18年設立の大野ESD自然学校の活動支援と、垂水市の学校教育、社会教育への貢献、②大野地区住民と一丸となっての公民館活動や振興会の奉仕作業（伝統芸能（棒踊り）の継承、その他の積極的な取り組みに対して、大学への感謝を表されたものです。

●39日間の航海へ「かごしま丸」

8月17日、鹿児島大学水産学部附属練習船「かごしま丸」の出航式が谷山港で行われました。今回の航海は、水産学部の学生18名（3年生17名、2年生1名（うち女子6名））と乗組員の計43名が乗船し、中西部太平洋における漁業実習（マグロ延縄）や航海実習、海洋観測実習のほか、寄港地（マラカル港（パラオ共和国））における学術交流、水産事情の調査などを行い39日間にわたる長期遠洋航海を経て9月末に帰港しました。


左から、前田公民館長、前田学長、内田会長

◎留学だより

大学院理工学研究科 博士前期課程（修士課程）情報生体システム工学専攻2年
鹿毛 健広さん
トビタテ！留学JAPAN
サンノゼ州立大学（2015年6月7日～8月6日）
ネットマークスインドネシア（2015年8月15日～9月24日）

海外や留学には全く興味がなかったのですが、学部2年の夏休みに叔父の勧めで行ったアメリカ一人旅で、これまでにない衝撃を受けました。それがきっかけで、異文化や習慣に興味を持ち、これ迄40カ国余りを旅行していますが、新興国に強い関心を持つようになりました。将来は海外でIT関連の仕事をするという目標を掲げてトビタテに応募し、留学しました。

サンノゼ州立大学では、語学や起業論について学び、世界最先端のIT企業を訪問し多くの刺激を受けました。ジャカルタのインターン先では、日系企業に出向いてネット環境の情報収集補助を行いました。現地スタッフに積極的に話しかけたり、一緒に食事をすることで仲良くなりました。現地の人が通勤に利用するバイクタクシーで通勤していたことでも親近感を持ってくれたようです。人と繋がるには、まず自分に興味を持ってもらうことが大切だと思います。言語がうまく通じないことで悔しさも感じましたが、失敗を恐れず突き進んだことで成長出来ました。

留学は、自分一人の力では資金面や情報収集にも限界があります。プログラム支援や留学制度などをうまく活用して、努力を惜しまず自分がやりたいことに挑戦してください。留学をしたいけれど躊躇があったら学生団体の“海外研究会”で相談に応じますので気軽に遊びに来てください。具体的なイメージができますよ。

インドネシアのインターン先で。中央が鹿毛さん

工学部 情報生体システム工学科4年
DOAN ANH DUNG（ドアン アン ズーン）さん
ベトナム ハイズン省出身
2013年4月に工学部情報生体システム工学科へ入学。
「鹿児島ベトナム人会」の発起人として活躍。
当初数名だったメンバーも今では300人規模になっている。
日本語能力試験N1取得。院生2年の先輩と二人暮らし。

Q.留学先に鹿大を選んだきっかけは？　A:中学生の時、「ASIMO」に感動し、日本で最先端技術を身につけたいと思いました。ベトナムの日本語学校で、鹿大に留学中の先輩の話で、情報生体工学に興味を持ちました。

Q.母国と日本との違いを　A:日本に来てすぐに感じたのは、街がきれい。車道が左側通行（ベトナムと逆）で慣れるまで時間がかかりました。お祭りが多いことと、冬ではなく夏に花火大会があることも不思議。

Q.鹿大の魅力は？　A:市内の中心地にあるのでとても便利。総合大学なので、専門的なスキルを身につけることができます。留学生が多く、留学生同士交流する機会があって楽しい。

Q.今後の目標について　A:システムエンジニアになり、母国の農業支援、医療支援システムを開発する会社を作りたいです。

●産学官連携黒膳プロジェクト「鹿児島の黒～美味食のススメ」を開催

9月6日（クロの日）に、「黒」を特徴とする鹿児島の食材の魅力を紹介するイベントを城山観光ホテルと鹿児島大学が共同で主催しました。第1部のパネルディスカッションでは、鹿児島の食材の機能性を研究する研究プロジェクト「黒膳研究会」から、侯德興農学部教授が「黒食材の機能性と黒膳の定義」、乾明夫医歯学総合研究科教授が「医学的応用の研究と可能性」、改元香鹿児島女子短期大学講師が「機能性を損なわない調理法」を発表しました。また、村山葉月はつき皮膚科クリニック院長が、アンチエイジングに食材が果たす役割を説明しました。第2部の特別招宴では、城山観光ホテルがこの日のために創作した、鹿児島の黒食材をふんだんに使った和食特別会席が饗され、約400名の参加者は次々に登場する料理と飲物を楽しみました。

谷山港での出港式の様子

開会挨拶をする前田学長

課外活動実績（平成28年4月～9月）　COLUMN

- ●将棋部　・平成28年度春季九州学生将棋大会　団体戦 準優勝
- ●カッター部　・第60回全日本カッター競技大会　一般の部 準優勝
- ●弓道部　・第60回西日本学生弓道選手権大会　男子団体戦 準優勝
  - ・第64回全日本学生弓道選手権大会　男子団体戦 ベスト8
- ●釣研究会　・第1回 king of the ルアー真鯛釣り大会　個人戦 優勝者　中村潤平（水産学部3年）
- ●陸上競技部　・第86回九州学生陸上対抗選手権大会　男子走り幅跳び 個人 第2位　田坂祐輝（教育学部1年）／男子走り幅跳び 個人 第3位　肝付宇紀（教育学部1年）／男子10000m競歩 個人 2位　高橋宏敬（農学部4年）／男子4×100mリレー 団体3位　上村洸樹（工学部4年）、上村凌（農学部3年）、日高達也（農学部4年）、中村弘樹（工学部3年）
  - ・第71回九州陸上競技選手権大会　男子4×100mリレー 団体 3位　川原裕史（医学部5年）、伊藤貴祥（医学部6年）、安武祐貴（医学部6年）、岩下稜（医学部3年）
  - ・第71回鹿児島県陸上競技選手権大会　男子800m 個人 1位　大津屋省吾（工学部1年）／男子走り幅跳び 個人 1位　田坂祐輝（教育学部1年）
- ●軟式庭球部　・九州学生ソフトテニス大会秋季リーグ　九州インカレ団体 第3位
- ●ハンドボール部　・平成28年度九州ハンドボールリーグ春季大会　男子 3位
  - ・九州地区大学体育大会　男子 ベスト4（第3位）
- ●吹奏楽団　・第61回鹿児島県吹奏楽コンクール　銀賞受賞
  - ・第61回九州吹奏楽コンクール大学の部　鹿児島県代表　銀賞受賞

INFORMATION

最新の情報は鹿児島大学ホームページをご覧ください。「インフォメーション」・「トピックス」など、常時更新しております。また広報紙「鹿大ジャーナル」もHP内で閲覧できます。

鹿児島大学広報誌『鹿大ジャーナル』

鹿児島大学のホームページ
https://www.kagoshima-u.ac.jp

◎大学祭スケジュール

- ・鹿大祭（11月10日～14日）
- ・桜ケ丘祭（11月19・20日）

◎「鹿大」進取の精神」支援基金」へのご寄附のお願い

鹿児島大学は、人材育成及びイノベーション機能の更なる強化に取り組むため、広く学内外の皆様に、学生・留学生支援、海外研修支援、研究支援及び社会連携活動支援等を目的とした鹿大」進取の精神」支援基金への寄附をお願いしております。つきましては、本学の取り組みをご理解いただき、当該基金へのご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

なお、事業内容につきましては、基金ホームページ（https://www.kagoshima-u.ac.jp/kitokin/）をご参照ください。

※本紙の送付にあたっては、在学生が学務Webシステムに登録している10月12日現在の住所データを利用しています。本紙がお手元に届かない場合や住所変更時は、学生に確認や変更手続きを行うようご連絡ください。

平成27年度 学部卒業者の就職・進路状況

学部卒業者の就職・進路状況の主なデータをご紹介します。最終的な就職先は毎年5月1日現在でデータを収集しています。就職支援センターのホームページ（http://www.kagoshima-u.ac.jp/career/）には「学部別就職先」など、より詳しい情報も掲載していますので、併せてご覧ください。

●平成27年度学部卒業者の就職・進路状況

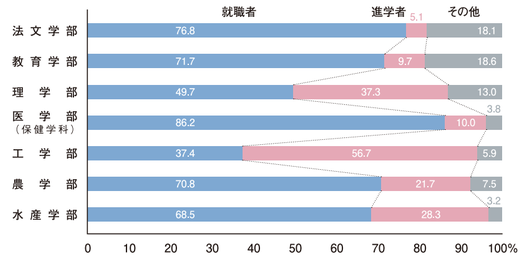
（平成28年5月1日現在）

		法文学部	教育学部	理学部	医学部（保健学科）	工学部	農学部	水産学部	合　計
平成27年度卒業者数（人）		370	269	169	130	423	240	127	1728
就職状況	就職希望者数（人）	298	208	91	114	159	176	87	1133
	就職者数（人）	284	193	84	112	158	170	87	1088
	業種別就職者数（人）：農林業・漁業	1	—	—	—	—	7	4	12
	建設・製造	25	4	11	—	77	28	21	166
	情報通信	18	2	14	—	28	6	1	69
	卸売・小売	42	13	5	—	1	20	25	106
	金融・保険	52	7	9	—	4	10	3	85
	医療・福祉	16	7	—	102	2	2	1	130
	教育・学習	10	13	5	—	—	3	2	33
	サービス	37	10	16	—	24	36	12	135
	公務員	65	21	16	10	17	45	9	183
	教　員	3	109	6	—	—	3	5	126
	上記以外の業種	15	7	2	—	5	10	4	43
	就職率（%）	95.3	92.8	92.3	98.2	99.4	96.6	100.0	96.0
進学	進学者数（人）	19	26	63	13	240	52	36	449
その他（注）	その他（人）	53	35	15	3	24	12	4	146

（注）①医（医学科）・歯学部を除く。②9月卒業生を含む。③「その他」は、外国への留学者、専門学校への入学者、研究生・科目等履修生、公務員・教員採用試験受験希望者、進路不明者等。

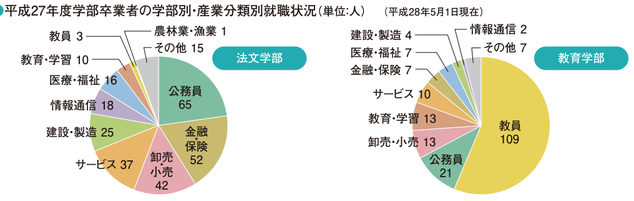
●平成27年度学部卒業者の就職・進路状況（グラフ）

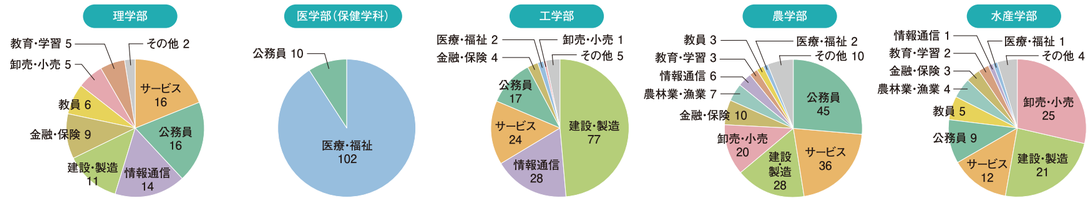
（平成28年5月1日現在）



●平成27年度学部卒業者の学部別・産業分類別就職状況（単位:人）

（平成28年5月1日現在）





●平成27年度学部卒業者の就職・進路状況内訳（学科・課程・性別）（平成28年5月1日現在）

	学科・課程	性別	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率(%)	進学者数	その他
法文学部	法政策学科	男	49	37	36	97.3	3	9
		女	39	31	30	96.8	3	5
	経済情報学科	男	66	54	51	94.4	0	12
		女	82	73	68	93.2	1	8
	人文学科	男	28	23	22	95.7	1	4
		女	106	80	77	96.3	11	15
	小　計	男	143	114	109	95.6	4	25
		女	227	184	175	95.1	15	28
教育学部	学校教育教員養成課程	男	103	72	64	88.9	12	19
		女	115	95	90	94.7	9	11
	特別支援教育教員養成課程	男	2	1	1	100.0	0	1
		女	14	12	11	91.7	1	1
	生涯教育総合課程	男	16	12	12	100.0	2	2
		女	19	16	15	93.8	2	1
	小　計	男	121	85	77	90.6	14	22
		女	148	123	116	94.3	12	13
理学部	数理情報科学科	男	28	11	11	100.0	11	6
		女	5	4	3	75.0	1	0
	物理科学科	男	27	10	10	100.0	13	4
		女	13	10	10	100.0	3	0
	生命化学科	男	29	12	9	75.0	16	1
		女	21	13	13	100.0	7	1
	地球環境科学科	男	29	16	16	100.0	10	3
		女	17	15	12	80.0	2	0
	小　計	男	113	49	46	93.9	50	14
		女	56	42	38	90.5	13	1
医学部	保健学科	男	28	23	21	91.3	3	2
		女	102	91	91	100.0	10	1
	小　計	男	28	23	21	91.3	3	2
		女	102	91	91	100.0	10	1
工学部	機械工学科	男	82	26	26	100.0	50	6
		女	2	1	1	100.0	1	0
	電気電子工学科	男	77	29	29	100.0	46	2
		女	1	1	1	100.0	0	0
	建築学科	男	44	13	13	100.0	29	2
		女	13	6	6	100.0	7	0
	環境化学プロセス工学科	男	38	11	11	100.0	23	4
		女	6	3	3	100.0	2	1
	海洋土木工学科	男	32	20	20	100.0	12	0
		女	5	4	4	100.0	1	0
	情報生体システム工学科	男	63	19	19	100.0	39	5
		女	13	8	8	100.0	4	1
	化学生命工学科	男	33	8	8	100.0	22	3
		女	13	9	9	100.0	4	0
	生体工学科※	男	1	1	0	0.0	0	0
		女	0	0	0	—	0	0
	小　計	男	370	127	126	99.2	221	22
		女	53	32	32	100.0	19	2
農学部	生物生産学科	男	49	28	27	96.4	17	4
		女	39	29	28	96.6	7	3
	生物資源化学科	男	21	12	12	100.0	7	2
		女	38	33	32	97.0	5	0
	生物環境学科	男	39	30	29	96.7	8	1
		女	24	16	14	87.5	7	1
	獣医学科	男	17	15	15	100.0	1	1
		女	13	13	13	100.0	0	0
	小　計	男	126	85	83	97.6	33	8
		女	114	91	87	95.6	19	4
水産学部	水産学科	男	70	44	44	100.0	23	3
		女	47	36	36	100.0	10	1
	水産教員養成課程	男	7	5	5	100.0	2	0
		女	3	2	2	100.0	0	0
	小　計	男	77	49	49	100.0	25	3
		女	50	38	38	100.0	11	1
合　計		男	978	532	511	96.1	350	96
		女	750	601	577	96.0	99	50
		計	1728	1133	1088	96.0	449	146

（注）①医学部（医学科）、歯学部を除く。②9月卒業生を含む。③※印は旧学科を示す。

COLUMN　東京・大阪・福岡の就職活動拠点（サテライト）と東京学生宿泊施設について

平成25年度から多くの学生が就職活動に利用してきた福岡市天神地区の「福岡サテライト」に加え、今年3月からは新宿の「東京サテライト」、東梅田の「大阪サテライト」の3つの県外拠点が利用できるようになりました。いずれも天神駅・新宿駅・梅田駅という各都市の主要ターミナルに近く、アクセスの良い場所に位置しています。パソコン、コピー機、プリンター、更衣室等を備えており、就職活動だけでなくインターンシップ等の際にも、書類の準備や情報収集のほか、他の学生との情報交換、休憩や着替え、荷物の預かりなど、事前予約不要で学年を問わず自由に利用できます。**（詳細は就職支援センターのホームページ https://www.kagoshima-u.ac.jp/job/post-7.htmlに掲載）**

学生が実習や研究はもちろんのこと、インターンシップ、就職活動、ボランティア、サークル活動などの目的で東京に滞在する場合は、「海音寺潮五郎記念東京学生宿泊施設」も利用できます。この施設は、鹿児島県出身の歴史小説家、海音寺潮五郎氏のご遺族より寄贈を受けた記念館を、本学学生の首都圏での就職活動や教育・研究における東京拠点（宿泊施設）として改修・整備したものです。新宿駅から小田急線急行で約10分の経堂駅に近く、利用料は無料（シーツ等のクリーニング代のみ実費負担）となっており、昨年8月のオープン以来、多くの学生が利用しています。利用に際しては、事前に就職支援センターにて申込手続が必要です。**（詳細は鹿児島大学ホームページ https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/post-25.htmlに掲載）**

◎内定者による体験談（後輩への就活アドバイス）

大橋 奈月さん　法文学部 法政策学科 4年
●NTT西日本 内定

まちづくりに興味があり、地域の将来について語り合うイベントに参加していく中で、人口減少などの地域が抱えている課題に触れ、通信技術を使って仕事や教育の機会を増やすことが出来るのではないかという思いからIT企業を志望しました。

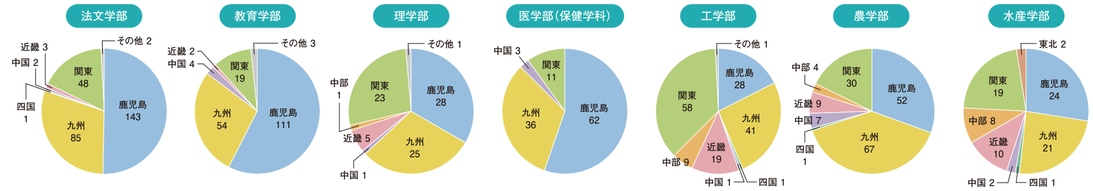
先輩に紹介していただいた就活団体で、OB・OGの方が本番同様の面接練習をしてくださり、繰り返しアドバイスを受けました。面接の雰囲気に慣れたことで、本番でも自分の言葉で話すことが出来たと思います。学生同士の情報交換も就職活動の励みになりました。日経新聞の読み方講座では企業の情報や経済の動きなどを教わり、かなり鍛えられました。

企業説明会に行くための日程調整などスケジュール管理が大変で悩みましたが、将来につながる一番大事な時期だ！と自分を奮い立たせて、悔いは残さないよう全力で挑みました。

手話サークルの部長時代にぶつかった壁を逃げずに乗り越えたという経験により自己成長できたと思います。自分の興味のあること、やると決めた事には、熱心に取り組んでほしいです。自分の内面やこれからの生き方に対して真面目に向き合える良い時期だと思うので、これを機に自分のことを深く見つめなおす機会を持つとよいと思います。

●平成27年度学部卒業者の地区別等就職状況（単位:人）

（平成28年5月1日現在）



●学部別過去5ヵ年の就職率

	法文学部	教育学部	理学部	医学部（保健学科）	工学部	農学部	水産学部	全学部
23年度	87.4%	94.1%	88.5%	100.0%	96.4%	88.7%	92.0%	92.0%
24年度	88.7%	82.3%	95.3%	99.1%	95.1%	96.7%	98.6%	91.7%
25年度	95.7%	92.7%	86.2%	99.1%	98.8%	96.7%	95.9%	95.4%
26年度	92.8%	93.0%	95.6%	97.5%	98.5%	95.3%	94.6%	94.9%
27年度	95.3%	92.8%	92.3%	98.2%	99.4%	96.6%	100.0%	96.0%

●平成27年度国家試験等合格率一覧

	全　体			新 卒 者			既 卒 者		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
医　師	113名	97名	85.8%	100名	91名	91.0%	13名	6名	46.2%
歯 科 医 師	59名	39名	66.1%	47名	32名	68.1%	12名	7名	58.3%
獣 医 師	35名	32名	91.4%	30名	28名	93.3%	5名	4名	80.0%
保 健 師	17名	16名	94.1%	17名	16名	94.1%	—	—	—
助 産 師	4名	4名	100.0%	4名	4名	100.0%	—	—	—
看 護 師	81名	81名	100.0%	81名	81名	100.0%	—	—	—
理学療法士	20名	16名	80.0%	19名	16名	84.2%	1名	0名	0.0%
作業療法士	19名	19名	100.0%	19名	19名	100.0%	—	—	—

●平成27年度学部卒業者の主な就職先

◎法文学部
- 再春館製薬所
- 日立システムズ
- 豊田通商
- 日本郵便
- 南国殖産
- 健康家族
- 山形屋
- 三菱東京UFJ銀行
- 南日本銀行
- 宮崎銀行
- 鹿児島相互信用金庫
- 鹿児島銀行
- 東京海上日動火災保険
- 明治安田生命保険
- 岩崎産業（いわさきグループ）
- JTBグループ
- 鹿児島県国民健康保険団体連合会
- JAかごしま中央
- プライムアシスタンス
- 東京法務局
- 熊本国税局
- 鹿児島労働局
- 大分県
- 宮崎県
- 熊本市
- 鹿児島県
- 鹿児島県警察
- 鹿児島市
- 霧島市
- 鹿児島県公立中学校

◎教育学部
- 鹿児島大学教育学部附属小学校
- 鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
- 鹿児島県公立学校
- 宮崎県公立学校
- 熊本県公立学校
- 大分県公立学校
- 長崎県公立学校
- 佐賀県公立学校
- 福岡県公立学校
- 中国地区公立学校
- 近畿地区公立学校
- 関東地区公立学校
- 海外日本人学校
- 鹿児島県私立幼稚園
- れいめい中学校・高等学校
- 樟南高等学校
- 大口明光学園中学校・高等学校
- 日本郵便
- 鹿児島銀行
- 野村證券
- 再春館製薬所
- 財宝
- 大学生活協同組合九州事業連合
- 鹿児島県
- 鹿児島市
- 鹿児島県警察
- 鹿児島市消防局
- 薩摩川内市消防局
- 警視庁
- 東京消防庁

◎理学部
- ニプロ
- 大分キヤノンマテリアル
- マイクロンメモリジャパン
- 日立パワーソリューションズ
- 三菱電機マイコン機器ソフトウエア
- 本田技術研究所
- 塩野義製薬
- 新日本科学
- 都城酒造HD
- 本坊酒造
- 山野井
- 鹿児島テレビ放送
- JA鹿児島県経済連
- 鹿児島銀行
- 山口フィナンシャルグループ
- 野村證券
- ゆうちょ銀行
- 宮崎太陽銀行
- 鹿児島信用金庫
- 鹿児島興業信用組合
- 気象庁
- 長崎税関
- 鹿児島県
- 鹿児島市
- 宮崎県
- 沖縄県
- 福岡県警察
- 福岡県立小倉高校
- 鹿児島県公立中学校

◎医学部（保健学科）
- 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
- 慶應義塾大学病院
- がん研究会有明病院
- 労働者健康福祉機構 関東労災病院
- 西広島リハビリテーション病院
- 九州大学病院
- 小倉記念病院
- 福岡大学病院
- 白十字病院
- 誠愛リハビリテーション病院
- 済生会熊本病院
- 宮崎大学医学部附属病院
- 宮崎県立病院
- 大分県立病院
- 鹿児島市立病院
- JA鹿児島県厚生連 健康管理センター
- 相良病院
- 三宅病院
- 鹿児島医療生活協同組合
- 鹿児島赤十字病院
- 今給黎総合病院
- 川内市医師会立市民病院
- 熊本県
- 鹿児島県
- 鹿児島市

◎工学部
- パナソニック
- 富士通
- 大王製紙
- 大林組
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
- 三菱電機ビルテクノサービス
- 日立システムズ
- 西部電機
- ファナック
- 佐世保重工業
- JFE条鋼
- 錢高組
- ANAシステムズ
- コーアガス日本
- 九州旅客鉄道（JR九州）
- 新日本科学
- 九鉄工業
- 五洋建設
- 九電工
- アロン電機
- デンソーテクノ
- 熊本赤十字病院
- 国土交通省（九州運輸局）
- 鹿児島銀行
- 鹿児島県
- 鹿児島市

◎農学部
- 熊本県森林組合連合会
- 住友林業フォレストサービス
- 霧島酒造
- 濱田酒造
- 日本澱粉工業
- プリマハム
- 日本ペットフード
- 日清丸紅飼料
- 日本製紙
- カミチク
- JA物流鹿児島
- JA鹿児島県連
- NOSAI南薩
- 健康家族
- 大正富山医薬品
- 新日本科学
- 微生物化学研究所
- 日本動物高度医療センター
- はとの里動物病院
- パル動物病院
- 農林水産省
- 阿久根市
- 大分県
- 鹿児島県
- 熊本県
- 長崎県
- 宮崎県

◎水産学部
- 拓水
- ジャパンシーフーズ
- マルハチ・テクノロジー
- 大島造船所
- 博多まるきた水産
- 日東メディック
- イオン九州
- 大水
- 東洋冷蔵
- 九州労働金庫
- 新日本科学
- あきんどスシロー
- 黒瀬水産
- ヒガシマル
- 極洋
- 暁酵素産業
- 霧島酒造
- 日本郵便
- ゴトー養殖研究所
- 大都魚類
- 辻野
- 日本メンテナンスエンジニヤリング
- 農林水産消費安全技術センター
- 海上自衛隊
- 鹿児島県
- 鹿児島県警察
- 枕崎市
- 愛媛県立宇和島水産高校
- 大阪府立岬高校

◎先生インタビュー　TEACHER'S INTERVIEW

亡くなった人から学び、生きている人に活かすこと

和歌山県立医科大学大学院。博士（医学）。2008年4月着任

医歯学総合研究科 准教授　**林　敬人**

中学生の頃にエイズという不治の病があることを知り、新薬を開発して大勢の人を救いたいと思ったのが医学研究の道を志すきっかけで、学部4年生の時にドラマの影響もあり、研究室配属で法医学教室に通い、研究だけではなく解剖・検死で死因を究明することに興味を惹かれ、卒後すぐに法医学の道に進みました。

研究テーマは、虐待の新たな法医学的診断法を確立することです。これまで身体的虐待を繰り返し受けると、肺・肝臓などの多臓器に白血球の一種である好中球が浸潤し、臓器を障害することで多臓器不全に陥る危険性があることや、虐待ストレスによって副腎などの内分泌系臓器にも障害を来すことを証明してきました。今後、これらの知見を法医学的診断だけではなく、臨床に応用することを目指しており、虐待の早期発見・予防に役立てばと考えております。

講義では、死後画像診断など法医学の最先端の話題を取り入れて学生に興味を持たせるように心がけています。医学の神秘に感動し、様々なことに興味を持って、試験に出る出ないに関わらず、幅広い知識を取り入れて欲しいと思います。

失敗を繰り返してこそ勘が冴えてくる

名古屋大学大学院生命農学研究科博士後期課程。博士（農学）。2011年10月着任

農学部 准教授　**池永　誠**

植物に生息する微生物の多様性を解析し、その農業活用を目指す研究は、学生時代から取りかかってきたライフワークの1つです。当時はDNA解析が一般的でなく、データが出るまで1年近く時間を要しました。他方、当時の技術では解決できなかった問題もありました。鹿大に赴任後、試行錯誤を繰り返し、問題を解決する新手法の開発に成功しました。本手法は画期的なものとして注目されており、これによって得られた結果を基盤にして、有用な植物共存微生物の特定と活用により限られた土地で最大限の収穫を持続的に生み出す事ができればと考えています。

幼い頃から植物など身近な生物に興味があり、本を読んで詳細な情報を得る一方、歴史や地理にも興味を持っていました。大学生になってからは、休みの度に歴史物の舞台となった国内外の史跡や世界遺産を巡る旅に出掛けていました。

学生を見ていると、失敗を恐れて研究に取り組んでいるように見えます。研究は、もの の考え方。勉強でもあるので、失敗を恐れず、失敗の中から自分で考え方を掴む事が出来るよう、段階的な指導を心掛けています。